

ゴールをめざせ! 市議会杯少年サッカー大会

6月17日(土)に運動公園で小学5年生以下の市議会杯少年サッカー大会が行われました。

決勝戦では、長鶴サッカー少年団とFC鶴ヶ島が対戦。長鶴サッカー少年団が9-1で勝利し、市議会杯を手に入れました。



優勝した長鶴サッカー少年団のメンバー

編集後記

5月から議会報編集委員会の委員が替わり、初めて委員長になりました。新メンバーで、議会改革の成果が伝えられるよう努めていきたいと思えます。

ホームページで公開してきた政務活動費の収支報告は、28年度分から領収書の写しも公開しています。

議会で行われていることを知っていただくための検討、工夫を重ねていきます。(大)

(議会報編集委員)

前列右から持田委員、太田副委員長、大野委員長、高橋委員
後列右から小川委員、出雲委員、松尾委員、内野委員



議会報編集委員会

Q 藤縄市政3期12年の成果について

高橋 剣二 議員



A 相当の成果はあったが、まだやるべきこともある

質問一 行政改革の成果は。

二 財政改革の成果は。

三 教育改革の成果は。

四 都市基盤整備の成果は。

五 市長の理想とする鶴ヶ島の将来像について。

答弁一 (市長) 土曜日の窓口開庁等による利便性の向上や指定管

理者制度の導入、PFI方式での

学校給食センターの更新、公民館

の改編等を行った。支え合い協議

会も6地区で設立された。その幾

つかは全国に先駆けたものである。

二 市税収納率を88割から95割に向上させ、土地開発公社の保有地の買取り、一本松土地区画整理事

業を見直すなどし、財政に一定の余裕も見込めるようになった。

三 (教育長) 放課後のびのび算数教室の実施等による学力向上、

全小・中学校の耐震化及び空調整備を完了するなどした。

四 (市長) 一本松及び若葉駅西口の土地区画整理事業は、平成31年度の完了を目指して推進してい

る。また、共栄一本松線の全線開通など、道路網の充実を図った。

五 職、住、遊、消費の近接した子どもたちの笑い声が響く「活力」あるまち、高齢になっても「安心」して暮らせるまち、人・物・情報が行き交う「交流」のまちが近未来の鶴ヶ島のイメージである。

来鶴ヶ島のイメージである。



市の総合計画と各種計画